

「被災地の力になりたい」



中学生が紡ぐ支援の輪

小布施中学校生徒会 熊本地震 義援金募集

被災者に心を寄せた小布施中学校生徒会の思いから、今回の取り組みが始まりました。生徒会長・副会長が町社協から募金や義援金の説明を受け、生徒会役員のみなさんで、昇降口での呼びかけや鳳凰祭での街頭募金を実施しました。

※お預かりした義援金は、共同募金会を通じて全額被災地へ送られます。

目次

- | | | | |
|----|---------------------------|----|---------------|
| 2P | 支え合いまちづくりレポート | 5P | お知らせ「ゆめ愛文化展」 |
| 3P | みんなで支える 災害のこと、地域のこと | | 町で働く「ふくし」のカタチ |
| 4P | 町デイサービスセンター「活気あふれる夏のひととき」 | 6P | 各種お知らせ&募集 |
| | デイサービスセンター花の里「心に響く、芸術の時間」 | | 小布施町社協への寄贈のお礼 |





小布施町支え合いまちづくりレポート vol.49

この町で自分らしく、ずっと暮らし続けたい！

「子どもの減少」や「自治会役員の引き継ぎの難しさ」など、超少子高齢化に伴う変化は小布施町にとっても大きなテーマとなっています。「5年後、10年後も住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるにはどうすればいいか？」そんな課題意識から、一歩を踏み出した地域の様子をお届けします。

地域の未来を住みよいものにしよう！ お互いさまの支え合い『準備会』の開催

「地域でみんなが支え合って暮らすために、何かできないか？」という声をきっかけに、押羽地区で、9月9日（水）にお互いさまの支え合いについての準備会を開催しました。押羽では令和3年度に『勉強会』を行いました。コロナ禍で中断。「活動を再開したい」「松村協議体のようにやってみたい」という思いから、再び動き出しました。

当日は20名が参加。自治会長さんや、相談を受ける立場の方、暮らしに心配事のある方、「役に立ちたい」と考えている方など、地域の暮らしに関心のあるみなさんが集まり、思いを語り合いました。



語り合うなかでのみなさんの声



人に迷惑をかけてはいけないと思う世代だから、**困っても遠慮**してしまう

一人暮らしの方への**声かけ・見守り**があると安心できる

近所や自治会の**つながり**が薄れてきている



さりげない見守りで、外作業のついでに行きあった時に声をかけ合えれば



災害時の**助け合い**を考えたい

防災放送が届かない人もいるので、**声をかけ合って**避難できる仕組みが必要



支えたいけれど、何をどうしたらいいか難しい…



気軽に参加できて、**地域を一緒に考える**機会が大切だね

参加者からは、押羽で自分らしく生活していくための「自分事」としての意見が活発に交わされました。今後も、地域の困りごとや強み（既にある支え合い）を共有し、必要な支え合いを学び・考えながら、押羽オリジナルの形を創っていきけるよう、話し合いを進めていきます。

今後の会にも、興味のある方はぜひお気軽にご参加ください。この温かい動きが押羽から北部地域、そして町全体へと広がっていくことを目指しています。



生活支援コーディネーター：神田

みんなで支える 災害のこと、地域のこと ～「募金」や「寄付」の種類と届く先～

募金や寄付は、目的に合わせて集められ、それぞれ異なる支援へとつながっています。町社協では、日本赤十字社長野県支部や長野県共同募金会からの委託を受け、町内で各種義援金・募金の受付事務を行っています。

1 被災者へ直接届く「義援金」

募集中の義援金は
ページ下段参照

被災された方へ直接届く「お見舞い金」です。みなさんから町社協がお預かりした義援金は、日赤や共同募金会などの専用口座を通じて被災自治体の「義援金配分委員会」へ送られ、家や家族を失った方の生活再建に全額役立てられます。



「義援金」が 届く仕組み

みなさんからの寄付
(日赤・共同募金会で受付)

専用口座で受け付け
「義援金配分委員会」へ
全額送金

被災された方へ

※ 配分委員会が設置されてからの募集となるため、受付開始まで少し時間がかかる場合があります。

2 被災地で活動する人を支える「支援金など」

義援金は全額が被災者へ配分されるため、現地での救護作業や復興活動の資金には使われません。そうした活動を直接支えるのが「支援金」や「活動資金」などです。



日本赤十字社『活動資金』

医師・看護師の派遣や救援物資の配布など、赤十字の災害救護活動を支えます。



中央共同募金会『ボラサポ』 (災害ボランティア・NPO 活動サポート募金)

災害ボランティアセンターの運営、資機材の購入費、重機の燃料費などを支えます。

3 ふだんのくらしを支える「地域の募金」

地域の募金に
ご協力をお願いします

自分たちが暮らす小布施町や長野県内の福祉活動を支える募金です。10月からは以下の募金運動が始まりました。

●赤い羽根共同募金

＜詳しい使いみちは「はねっと」(下二次元コード)で公開中

小布施町の福祉活動(約6～7割)

・子ども食堂、居場所づくり、地域交流など

長野県全体の福祉活動(約3～4割)

・市町村を限定しない広域的な支援活動や災害時のための準備金の積み立て(約3%)など



【事例】災害等準備金の活用

令和元年台風19号災害の際には、積立から町ボランティアセンターが助成を受け、飯田・大島地区などでのボランティア活動に活用されました。



●社会を明るくする運動募金

犯罪や非行をした人の更生への理解を深め、孤立させずにやり直せる安全・安心な地域社会を築くための支援運動

現在募集中の義援金・救援金

【受付窓口・募金箱設置場所】千年樹の里健康福祉センター (令和8年10月2日現在)

国内災害(義援金)

- ★ 令和8年熊本地震災害義援金
- ★ 令和8年8月からの大雨災害義援金(千葉、福井、富山、石川)
- 令和8年7月滋賀県甲賀市の土砂崩れ災害義援金
- ★ 令和6年能登半島地震災害義援金/能登半島大雨災害義援金(★印は役場にも設置)

中学生の募金活動
(表紙参照)

海外の災害(救援金)

- 2026年コロンビア地震救援金
- 2026年ネパール洪水救援金

※救援金は、海外での災害に対して赤十字等が行う人道支援・救護活動に役立てられます

8/18・19

町デイサービスセンター

活気あふれる夏のひととき

～みんなで踊ろう
町デイの夏祭り～

ボランティアのみなさんの温かいご協力のもと、熱気あふれる夏祭りを開催しました!チケットを手にしたみなさんは「どこから回ろうか」とワクワクした表情で各ブースへ。縁日ブースを楽しんだ後は、『おふくろ喫茶』のおやつタイム。今年は『すまいる☺カフェ』さんの淹れたてコーヒーも登場し、フロアは芳醇な香りと「美味しいね」の笑顔でいっぱい。

後半の盆踊りでは、ドンドンと響く太鼓の音に誘われて大きな踊りの輪が完成!ラストの恒例ビンゴ大会では「ビンゴ!」「リーチ!」とあちこちから歓声や悔しがりの声が上がリ、終始とびきりの笑顔と拍手に包まれたにぎやかな2日間となりました。



ヨーヨー釣り (縁日ブース)



スマイル☺カフェ (コーヒーボラ)



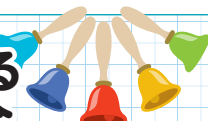
デイサービスセンター花の里

心に響く、芸術の時間

～イベント&創作活動～

8/19

美しい音色広がる ハンドベル演奏会

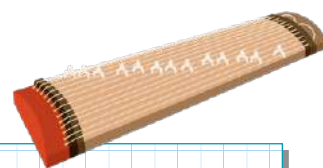


ハンドベルグループ『スマイルベル』のみなさんをお招きしました。利用者さんもベルを手にして「もみじ」の合同演奏に挑戦し「私にもできた!」と大感動。曲当てクイズや誕生会ソングなど、ハンドベルの美しい音色を全員で堪能しました。



8/20

琴とハーモニカで魅了! 坂口さんの演奏♪



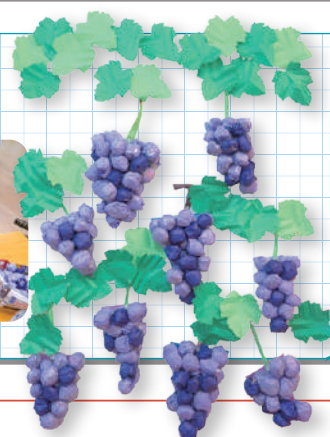
ご利用者の坂口さんが、独学のハーモニカと教室で習っている琴の演奏を披露してくださいました。事前に録音したご自身の琴の音色に合わせて歌う工夫もあり、『長崎は今日も雨だった』など全10曲を熱演!「また新しい曲を練習して披露するね」と、次回への意欲も満点です。



9月の
工作

みんなで手作り実りのブドウ壁画

9月の工作としてブドウの壁画制作を行いました。『粒をつくる人』『房にする人』と自然に役割分担しながら、「本物みたい!」「豊作だね」と会話に花が咲きました。立体感のある美味しそうなブドウが壁一面に完成しました。





第28回 ゆめ愛文化展

作品展 11月19日(土) 午前9時～午後4時
20日(日) 午前9時～午後3時

押し花、生け花、盆栽、絵画、写真、短歌、俳句、編み物、手芸品 など

高齢者や障がい者のみなさんに活動発表の場を提供し、生きがいづくりにつなげることを目的に、千年樹の里健康福祉センターで開催します。

趣味の作品や共同作品を展示、また日ごろの活動の発表の場にしてみませんか。たくさんのお出展・出演をお待ちしています。今年は初の試みで『ハンドリップコーヒー』のふるまいサービスを行います。昨年に引き続き『抹茶』サービスもあります。日時をご確認のうえお越しください。みなさんのご来場をお待ちしています。

芸能祭 11月20日(日) 午後1時～午後3時
歌、楽器演奏、踊りの発表 など

コーヒーサービス 11月19日(土) 午前10時～11時30分、午後1時30分～3時

抹茶サービス 11月20日(日) 午前10時～午後1時

作品展・出展、
芸能祭・出演は
おでこ
“2ポイント”
対象

申し込み 11月6日(金)までに町社協へ TEL242-6665

「ふだんのくらしのしあわせ」を支える福祉の仕事
～町で働く「ふくし」のカタチ～

第7回

生活支援員

はぎわら はるさ
萩原 花紗 さん

(特定非営利活動法人まいペース 多機能事業所「楓舎」)

Q1. 生活支援員とはどんなお仕事ですか？

A. 障がいのあるメンバーさんが作業や活動を通して働くことを支える仕事です。楓舎ではメンバーさんが革・布製品づくりやノバ折り、清掃、畑仕事などに取り組んでいます。ひとり一人が仕事をしやすくなるよう環境を整え、他のスタッフと共に見守りながら、その人に合わせた支援を行っています。

Q2. この仕事を選んだ理由やきっかけを教えてください

A. 高校時代、進路に悩んでいた時に先生が相談にのって支えてくださり、「私も身近な人を支える存在になりたい」と思ったのが原点です。大学での実習を通して障がいのある方と一緒に働き、地域にも貢献したいとの思いから福祉の道へ進みました。楓舎を選んだのは、メンバーさんがいていない革製品を作り上げる姿や、その作品が誰かの手に渡り、大切にされていく温かさで心を動かされたからです。



Q3. この仕事を通じてどのようなスキルや能力が身につきましたか？

A. 「その人にとって何がよいのか」「どうしたらみんなが過ごしやすくなるか」を常に考え、メンバーさんの言葉だけでなく表情や行動、雰囲気にも心を寄せる姿勢が身につきました。経験を重ねる中で、相手の気持ちを汲み取り、自分の考えを分かりやすく伝える力も高まったのかなと感じています。

Q4. この仕事ならではの喜びややりがい、達成感を感じる時は？

A. メンバーさんが今まで難しかったこと、できなかったことが、日々の積み重ねでできるようになった時や、販売会で作った商品が売れた時、嬉しそうな表情に触れた時にやりがいを感じます。メンバーさんと一緒に喜ぶことが、嬉しいです。

Q5. 日頃、どのようなことを大切にしていますか？

A. 今、何を考え感じているのか、メンバーさんの様子を見守り、何気ない会話からちょっとした変化を見逃さない関わりを心がけています。また、情報だけで決めつけず、まずは目の前の“その人自身”としっかり向き合って話してみることを大切にしています。

Q6. この仕事を目指す方へひとこと

A. サポートするだけでなく、関わる中で助けられ、学び、自分自身を見直すきっかけにもなる素敵な仕事です。福祉に向いている“決まった形”はないと思います。話すのが好きな人も聞き上手な人も、それぞれの特徴（個性）が誰かの支えになります。人と関わることやものづくりなど、少しでも興味があれば、ぜひ一歩踏み出してみてください。

楓舎のHPは





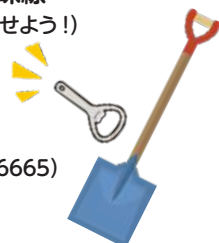
お知らせ

ボランティア養成講座 一緒に奏でよう！ スコップ三味線 ～人生が楽しくなる！豊かになる！～



スコップ三味線で使うのは、スコップと栓抜きだけ！楽器が弾けなくても、身近な道具でどなたでも楽しめます。叩いて、笑って、ストレス解消！聴いている方にも笑顔をお届けできるスコップ三味線を始めてみませんか。楽しいことを始めたい方、仲間づくりをしたい方など大歓迎です！

日時	全2回講座 ①12月1日🔥 やってみよう！スコップ三味線 ②12月9日🌊 リズムのつけ方（1曲完成させよう！） ※いずれも午前10時～11時30分
場所	千年樹の里 健康福祉センター
参加費	無料（道具は社協で用意します）
申込み	11月24日🔥 までに町社協へ（TEL：242-6665）
備考	おでこポイント対象事業



募集

有償雪かきボランティア

65歳以上の高齢者世帯で病気などにより雪かきができない方の代わりに、雪かきのお手伝いをしていただける方を募集します。

時間	原則午前6時30分から（または日中積雪のあるとき）	道具	各自持参
除雪範囲	家の入り口から道路までの幅1m程の範囲	謝礼	1回につき500円
活動目安	積雪10cm以上		

募集

年賀状デザイン

町社協にご協力いただいているボランティアさんや事業所にお届けする来年の年賀状デザイン(写真可)を募集します。

11月27日📅までにご応募いただいた中から年賀状デザインを選定させていただきます。



募集

おでかけボランティア

町デイサービスセンター

秋の外出企画として「フローラルガーデンおぶせ」と「小布施ミュージアム・中島千波館」へのおでかけを予定しています。心地よい季節に、利用者さんと一緒にお出かけしませんか。

- フローラルガーデンおぶせ 10月25日📅～11月7日📅
- 小布施ミュージアム・中島千波館 11月8日📅～21日📅

時間	午後2時～3時30分頃
内容	利用者さんの車いすの介助や歩行の付き添い
申込み	1日のみのご参加も大歓迎です。ご希望の日程をお知らせください。



募集

ご家庭に眠っている文房具はありませんか？



眠っている未使用の文房具が、学習品の用意が難しい子どもたちを支える力になります。お寄せいただいた文房具は、長野県社協を通じて支援を必要とする子どもたちへ届けられます。

未使用の文房具（えんぴつ、ペン、ノート、筆箱など）を寄付してくださる方は、町社協までお持ちください（受付締切：12月15日）。たくさんのご支援ご協力をよろしくお願いします。

職員募集

一緒に働きませんか？



地域福祉を支える仲間を募集します

- デイサービスセンター
- 生活相談員兼介護員・介護員・看護師
- ホームヘルパー

募集要項等、詳細は町社協HP下部「採用情報」に記載



小布施町社協へのご寄贈のお礼

ご芳志に対し、厚くお礼申し上げます。

須高理容組合青年部様 タオル

